



学校だより

7月号

横浜市立六つ川台小学校

平成26年6月30日

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawadai/>

地域サポーターの皆様とともに

学校長 柳澤 潤

地球の反対側で、連日、サッカー・ワールドカップの熱戦が繰り広げられています。感動とともに、世界の情報がリアルタイムで入ってきます。子どもたちの未来は、間違いなく「世界が舞台！」を実感させます。全力で攻め続け、守り続けた日本チームの健闘は、心に残りました。また、選手と同じ思いで応援する「サポーター」も話題になりました。中でも、日本人サポーターによる試合終了後の「ゴミ拾い」が世界のニュースになりました。会場をきれいに整えて立ち去るサポーターの振る舞いが、世界から称賛されました。とても誇らしい姿です。子どもたちにも、このような日本人のよさを大事に引き継いでもらいたい、学校教育でも大事にしたいと思いました。

さて、6月24日には『「まち」とともに歩む学校づくり懇話会』をさせていただきました。地域町内会長の皆様や、はまっ子チーフ、PTA会長とともに、給食をはさんで懇談の場をもちました。

「給食を楽しみにしているよ」と前々から声をかけてくださっていて、何十年かぶりに味わった感想を「今の給食は、いつもこんなにおいしいのかい」といっていただき、大変喜んでいただきました。会の皆様には、午前中の「スクールゾーン対策協議会」から、引き続きの会合となりました。午前中にも、子どもの安全や防犯のためにたくさんご意見を頂戴したのですが、懇話会のなかでも子どもを取り巻く環境を中心にたくさんの方が話題となり、ご意見をいただきました。一部を紹介します。

- ・地域で子どもが遊びに来る場所、集まる場所は、大事にしてあげたい。安全管理の心配もあるが、「子どもが集まる場所は、運もついてくる」というくらいの気持ちで、遊んでいる様子を見守ってあげたい。
- ・地域で育った子どもが大人となり、子どもを連れて「まち」に帰ってきている。いろいろな意味で、過渡期を迎えている。
- ・地域の子どもたちに、自分のことを名前で呼ばれるようになった。何よりもうれしい。
- ・高齢化で、地域のまつりを継続することが大変になっている。しかし、手作りを大事にして、子どもたちのために町おこしを工夫したい。
- ・パトロール隊を組織し、自発的に子どもの見守り活動を始めている。
- ・朝、登校時に交差点で見守り活動をしている。子どもの挨拶は十分ではないが、少しずつできるようになっている。
- ・「こんにちは」と、子どものほうから挨拶されるとうれしい。
- ・地域ぐるみで子どもが育ちやすい環境をつくれれば、「まち」に活力が出てくる。

懇話会会長から最後に、「六つ川台小の子どもたちがますます元気になって欲しい。そのために、子どもの成長に関心を持ち、地域全体で（あえて）余計なお世話をぜひとも、お願いしたい」とのお話をいただきました。

強力な地域サポーターからの応援メッセージをいただいた思いです。子どもたちが伸び伸びと活躍できるよう、より一層職員が団結し、希望に燃えて精進してまいります。地域・保護者の皆様、今月もどうぞ、よろしくお願ひします。